

子どもたちの適切なデジタル機器利用のために

子どもたちのスマホやタブレット、PCに関わるトラブルが心配されます。ご家族でよく話し合って使い方やルールを決めていただき、子どもたち自身が、適切な使い方を考えていけるようにお力添えいただけるとありがたいです。下部には機種別の機能制限の方法を挙げました。発達段階に応じた必要な制限をかけながら、子どもたちをネットトラブルに遭わせない環境づくりを構築していただけるとありがたいです。

ポイント

- ① **ルールはよく話し合って**・・・できるだけ、子どもさんが自分で決められるように相談してください
- ② **ルールは柔軟に**・・・名目だけにならないように、うまくいかなかった時は柔軟に変更を
- ③ **最初が肝心**・・・大切なのが機器を与える前。緩いルールを後で厳しくするのは難しいです
- ④ **使用時間・場所が大切**・・・子どもの SNS トラブルは夜 9 時以降、自室からの書き込みが多いといわれます。言い換えると昼間の居間での使用だけなら心配は少し減ります
- ⑤ **古い端末を安易に与えない**・・・機種変更後のスマホや保護者の使わなくなったゲーム機も要注意
- ⑥ **暗証番号は難しいものを**・・・子どもはとても賢いです。管理者暗証番号は大人でも難しいものを

使用時間・使用アプリを制限するための設定

デジタル機器の利用を保護者が管理する方法を紹介します。一方的な押し付けではなく、お子さんとしっかり相談の上、保護者の方が設定してください。



○スマホ（iPhone）・タブレット（iPad）の場合

OS の機能で制限できます。「設定」「スクリーンタイム」「続ける」から「これは自分用の [デバイス] です」または「これは子供用の [デバイス] です」を選択。その後「コンテンツとプライバシーの制限」で設定。

○スマホ・タブレット（Android）の場合

アプリを使うのが良いと思われれます。おすすめは「Google ファミリーリンク」。非常に様々な機能が使えます。ただし保護者側の Google アカウントから事前にクレジットカードの登録と 1 円課金が必要です。

○パソコン（Windows10）の場合

操作は①子どもアカウントの作成、②それに対し制限を設置、という 2 段階が必要です。まず子どもアカウントを作成します。「設定」→「アカウント」→「家族とその他のユーザー」→「家族のメンバーを追加」→「お子様を追加する」とし、その後「設定」「アカウント」から子アカウントに対し制限を設定します。

○パソコン（Windows8.1）の場合・・・コントロールパネル→ユーザーアカウント→ファミリーセーフティで設定

○パソコン（OS X）の場合・・・「環境設定」の「ペアレンタルコントロール」から設定できます。

○ゲーム機（Nintendo Switch/（Lite））の場合・・・以下の 3 つの操作で「みまもり設定」を設定します。

- ① 保護者アカウントの準備・・・ニンテンドーアカウントを設定します。未設定なら取得が必要
- ② 子どもアカウントの作成・・・保護者のニンテンドーアカウントで、子どものアカウントを作成
- ③ 子どもアカウントとユーザーの連携・・・作成した子どもアカウントを、お子様が使うユーザーに連携。

○ゲーム機（Nintendo 3DS）の場合・・・本体メニューの「設定」の「保護者による使用制限」から設定します。

○ゲーム機（Wii U）の場合・・・本体メニューの「保護者による使用制限」から設定します。

○ゲーム機（Play Station4）の場合・・・まず保護者のアカウントを作成。次に子どもをファミリーメンバーに登録後、本体またはウェブ上からペアレンタルコントロールを設定。

※紙面の関係で概要のみの説明です。実際の設定は機器や OS のバージョンによって操作がかなり異なりますので、詳細な設定方法をネット検索していただき、ご確認ください。